

地域医療連携だより

高松市立病院
基本理念

『生きる力を応援します』

高松市民病院
基本方針

- 1『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2『理想的な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3『まごころのある医療人』を全力で育成します。

平成26年

3月号
〈第10号〉

病院屋上からの眺望



診療科紹介 循環器科

藤村 光則 荒木みどり 大野 孔文

平素より大変お世話になっております。患者さんをご紹介いただいたり、また治療継続のためにこちらからご紹介させていただきました患者さんをご加療いただいたり、先生方には大変お世話になっており感謝申し上げます。

高松市民病院に平成元年に赴任された小島元副院長（現在、こじまクリニック院長）が平成5年4月に循環器科をたちあげられて以来、高松市民病院循環器科にはこれまでにローテーションで徳島大学第一内科（生体情報内科）から同門の若い医師がこられ、現在ではそれぞれの医師が各病院で循環器診療

を担い、また大学や留学先の研究で大きな成果を上げられ、「小島門下生」として活躍されています。

最近の当院の循環器科は、それぞれ小島門下生である藤村（平成4年卒）と荒木（平成5年卒）の二人体制の診療が続いていましたが、平成25年4月からは徳島大学循環器内科から大野（平成15年卒）が加わり、三人体制をとっています。以前より緊急に対応しやすくなっているかと思っておりますのでよろしくお願いたします。

外来担当は、藤村：水木金（午前）、荒木：月（午前）、大野：木（午後）です。外来担当でない曜日には救急または検査（エコー、トレッドミル運動負荷心電図、負荷心筋シンチなど）を担当しています。

外来で施行可能な検査として、心エコー（経胸壁、経食道）、頸動脈エコー、運動負荷心電図（マスター、トレッドミル）、ホルター心電図、血管内皮機能、ABI/PWV、冠動脈CT、心筋シンチ、CPX、ティルトテストなどがあります。当院では心臓カテーテル検査、カテーテル治療は入院で対応させていただいています。症状によりこれらの各検査を組み合わせる施行し、診断、治療を行っています。



私たちが所属していた徳島大学旧第一内科は、動脈硬化・凝固異常など循環器領域としては基礎的な研究をしてきた教室であり、小島先生の時代から脂質異常と動脈硬化に注目していました。現在もその伝統を受け継いで酸化LDLなど特殊な脂質異常と動脈硬化の関連などを臨床研究し、その成果を毎年日本循環器病学会総会で発表しています。最近では、コメディカルセッションへの発表も増えて、スタッフの学術的な意識も高まってきています。さらに、当院の検査技師2名（山本、堀井）は超音波検査士（循環器領域）の資格を取得し、エコー検査を通して日々の循環器診療で活躍しています。また、平成21年に循環器科医師が3人から2人に減る時に、カテーテル検査・治療に、看護師、放射線技師に加え、臨床工学技士、検査技師が積極的に参加してくれるようになり、新しい体制で検査、治療を維持することができました。臨床工学技士は、今では県下の臨床工学技士の勉強会で中心的役割になるほどまで成長してきました。また同年には放射線技師の大きな協力を得て冠動脈CT検査を開始しています。彼らとチーム医療をしてきたことで現在の循環器科が多くの患者さんや幅広い疾患・救急診療に対応できると考えています。

さて、実際の診療で担当している疾患は、狭心症、心筋梗塞などの冠動脈疾患だけでなく、心筋症（拡

張型心筋症、肥大型心筋症、不整脈源性右室心筋症など）、弁膜症・不整脈による心不全、肺高血圧、閉塞性動脈硬化症などです。紹介を受けることの多い症状・症候としては、労作時胸部不快感、動悸、全身や下肢のむくみ、失神、心雑音・心電図異常の精査、血圧上昇、血圧低下、感染性心内膜炎疑い、院内では手術の術前心機能評価や、脳塞栓の塞栓源精査目的などです。

当院循環器科で診療を通じて当院の特徴ではないかと感じることは、呼吸器疾患・膠原病にともなう肺高血圧や、整形外科疾患で入院中の高齢女性の弁膜症、透析患者さんの弁膜症や心不全、肺炎・呼吸不全に伴うたこつぼ型心筋症、失神の患者さんを経験することが多いことです。おそらく当院がそれほど大きくない規模の病院で診療科の間の垣根が低いこと、高齢の患者さんが多いことと関連があるのではないかと考えています。また、難しい疾患、希な疾患、複雑な病態に遭遇することが毎日のようにあり、私たちも日々勉強させていただいています。

先生方におかれましては、典型的でない症状のために患者さんの紹介をためられることもあるかと思いますが、お気軽にご相談いただけましたら幸いに存じます。今後ともよろしくお願いします。

（文責 荒木）

認定看護師の紹介

現在当院では救急看護、がん化学療法看護、感染管理の分野の認定看護師3名が勤務しています。

【救急看護認定看護師】

救急医療は、救急現場だけでなく災害現場、臓器提供・臓器移植など社会のニーズが高く、大きな発展を遂げています。そのなかで救急看護認定看護師の役割は、高度先進医療を担う救急医療のニーズにこたえて、救命技術だけでなく、患者さんおよびご家族への精神面の看護に至る幅広い救急看護領域の知識や技術に熟知し、状況に応じた的確な実践や指導を行えることです。現在、HCUにて勤務をしながら、救急看護認定看護師として兼任で活動しています。救急委員会、ICLSチームに所属して、実践や院内教育の場でスタッフの救急看護の実践と質の向上

を目指しています。また、災害時に迅速かつ適切に対応できるように2013年には初めて災害訓練を実施しました。この訓練を通して不備な所を見直して災害時にはあわてることなく対応できるようにスタッフともに頑張ります。

【がん化学療法認定看護師】

近年、分子標的治療薬の開発など、がん化学療法に使用する薬剤の増加や、様々な副作用に対する支持療法も進歩してきており、がん化学療法が複雑化しています。そして治療の場も入院化学療法から、自分らしい生活と治療を継続する外来化学療法へと移行しています。その中で、安全・確実・安楽に治療が出来るように支援していくことが、がん化学療法認定看護師の役割です。現在、私は産婦人科を中心とする女性病棟と外来化学療法室で活動をしています。その中で、実践家としてがん化学療法の投与



や患者指導だけでなく、病状や今後への不安を感じている患者さんやご家族に、がん患者カウンセリングやがん相談を通して、身体・心理・社会的な支援を実施しています。また院内の化学療法マニュアルの整備・がん化学療法看護の質の向上を目的としたスタッフへの研修会や外来化学療法室研修、化学療法に対するコンサルテーションなどを行っています。今後も、医師や薬剤師など多職種と協働して、がん化学療法を受ける患者さんご家族が、治療を納得して安全に、少しでも苦痛を少なく治療を受けることが出来るように努めていきたいと考えています。

【感染管理認定看護師】

感染管理認定看護師の役割は、職員やご家族はも

ちろんのこと病院内すべての人々（患者さんやご家族など）を感染から守ることであり、そのための感染予防および管理を効果的に実践することです。感染管理認定看護師を取得した時は、病棟勤務をしながらの活動でしたが、現在は感染管理を専門に活動しています。院内感染対策委員会・ICT・リンクナース会の一員として他の職種と共に情報交換をしながら感染対策に取り組んでいます。活動の内容は、感染予防活動の推進、病院職員への啓発活動、職業感染対策、院内感染対策マニュアルの整備、感染対策へのコンサルテーションなどを実施しています。また、感染対策の実施状況などを確認しながらラウンドを実施し、不備な点があった場合には直接現場で改善を依頼したり、ほかのメンバーなどと話し合い後改善点について指導したりしています。今後も感染対策への意識向上と継続した感染対策の取り組みができるように努めていきたいと思ひます。

最後になりましたが、他にも2名の看護師が認定看護師育成の教育施設で研修中又は終了しています。今後も仲間が増える予定です。認定看護師同士でコミュニケーションを取りながら、それぞれの分野で頑張ります。

高松市民病院地域連携カンファレンスのお知らせ

日時 平成26年6月23日（月）午後7時～午後9時
講師 徳島大学循環器内科 佐田 政隆教授
※講演会終了後意見交換会

小児神経専門外来のお知らせ

毎月第2金曜日 14:00～16:00（予約制）
徳島大学小児神経専門医師の診察を行っています
非てんかん性けいれん～てんかん疾患患児をご紹介ください
診断および治療について検討させていただきます。

ご紹介ありがとうございます

平成26年1月の紹介患者数（再診含む）137医療機関から355名ご紹介いただきました。
ありがとうございました。

高松市民病院外来担当表

H26.3.1現在

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	午前	1診	友兼 毅 (消化器)	星島 康男 (内科・血液)		多田 早織 (消化器)	星島 康男 (内科・血液)
		2診	荒木みどり (循環器)		藤村 光則 (循環器)	藤村 光則 (循環器)	藤村 光則 (循環器)
		3診	河野 洋二 (呼吸器)	岸本 伸人 (呼吸器)	河野 洋二 (呼吸器)	岸本 伸人 (呼吸器)	岸本 伸人 (呼吸器)
		4診	吉野 すみ (内科・消化器)	田中 育太 (消化器)	友兼 毅 (消化器)	吉野 すみ (内科・消化器)	田中 育太 (消化器)
	午後	1診	星島 康男 (内科・血液)	三枝 明子 (内科)			多田 早織 (消化器)
		2診			総回診	大野 孔文 (循環器)	
		3診		岸本 伸人 (呼吸器)			
		4診				河野 洋二 (禁煙外来)	
精神科	午前		香川大学医学部 (再診のみ)	香川大学医学部 (再診のみ)			安平 洋 (再診のみ)
小児科	午前	大橋 博美	大橋 博美	1・3週 大橋 博美 2・4週 渡邊 俊之	渡邊 俊之	大橋 博美	
	午後	渡邊 俊之	渡邊 俊之 ・乳児健康診断 (13時30分～14時30分) ・一般診療 (午後14時30分～)	1・3週 渡邊 俊之 2・4週 大橋 博美	大橋 博美 ・乳児健康診断 (13時30分～14時30分) ・一般診療 (14時30分～) 渡邊 俊之 ・アトピー外来 新患のみ予約	渡邊 俊之 小児神経内科(徳島大学) 月1回第2週(要予約)	
外 科	午前	1診	和田 大助 (消化器・肝胆脾外科)	井内 正裕 (消化器・乳腺・甲状腺)	福田 洋 (消化器・肝胆脾外科)	尾形 頼彦 (消化器・内視鏡外科)	小笠原 卓 (消化器・内視鏡外科)
		2診	福田 洋 (消化器・肝胆脾外科)	三崎 伯幸 (呼吸器外科)	四方 祐子 (消化器・一般外科)	三崎 伯幸 (呼吸器外科)	
	午後	外来担当医				小笠原 邦夫 予約患者のみ(一般外科・血管外科)	総回診
整形外科	午前	1診	後藤 仁	三宅 亮次	三宅 亮次	三好 英昭 (新患のみ)	三好 英昭
		2診	三好 英昭	後藤 仁	後藤 仁		三宅 亮次
	午後	手術	手術	手術	手術	検査	
脳神経外科 神経内科※1 (月1回木曜午前 要問合せ)	午前	白川 典仁	関貴 聖二	白川 典仁	神経内科(徳島大学)月1回 交替(要問合せ)	関貴 聖二	
	午後	交替(要問合せ)					
皮膚科	午前	古北 一泰	古北 一泰	古北 一泰	古北 一泰	古北 一泰	
	午後	小手術・処置		小手術・処置		皮膚科手術	
形成外科	午前	杉野 博崇 (予約患者のみ)皮膚科外来にて	杉野 博崇	杉野 博崇	杉野 博崇	杉野 博崇	
	午後	手術					
泌尿器科	午前	藤澤 尚人	大森 正志	藤澤 尚人	天野 慎二	大森 正志	
	午後	手術	天野 慎二	手術	検査	手術	
産婦人科	午前	妊婦健診	笠井 可菜	山下 瑞穂	大野 義雄	笠井 可菜	笠井 可菜
		婦人科	大野 義雄	山下 瑞穂	山下 瑞穂	笠井 可菜	大野 義雄
	午後	検査・手術	検査・手術	検査・手術	検査・手術	検査・手術	
眼 科	午前	谷 英紀	谷 英紀	谷 英紀	谷 英紀	谷 英紀	
		樋端 透史	樋端 透史	樋端 透史	樋端 透史	樋端 透史	
	午後	樋端 透史 (新患のみ)	手術	手術	樋端 透史	検査	
耳鼻咽喉科	午前	近藤 昭男	近藤 昭男	近藤 昭男	武市 充生	近藤 昭男	
		武市 充生	武市 充生	武市 充生		武市 充生	
	午後	交替	検査	交替	手術	小手術	
放射線科	午前・午後	林 義典 大友 真姫	林 義典 大友 真姫	林 義典 大友 真姫	林 義典 大友 真姫	林 義典 大友 真姫	
麻酔科	午前	中井 隆博					
	午後	手術					

※1 神経内科(徳島大学医師)の診療は、不定期ですので脳神経外科へお問い合わせください。【連絡先: 087-834-2181 内線251】

【受付時間】新患の方: 午前8時30分～午前11時、午後1時～午後4時(内科は午後3時まで)

再来の方: 午前8時30分～午前11時30分、午後1時～午後4時(内科は午後3時まで)

尚、この表は変更することがありますので、詳しいことは各科にお問い合わせください。【連絡先: 087-834-2181】